



証券コード 2331

第60期
株主通信
(中間)

総合警備保障株式会社

ALSOK

Communication

2024年4月1日 ▶ 2024年9月30日

強靱な総合安全安心サービス業へ



HOME *ALSOK* Connect

解決!



トップメッセージ



代表取締役
グループCEO
村井 豪

拡大する社会の 安全・安心ニーズに 的確に 대응してまいります



代表取締役
グループCOO
栢木 伊久二

株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループの第60期中間期（2024年4月1日～2024年9月30日）の概況についてご報告申し上げます。

事業環境について

当中間連結会計期間における我が国経済は、個人消費や輸出の動きに足踏みがみられるものの、生産や設備投資の持ち直し、企業収益の改善などを背景に緩やかな景気回復が継続しました。先行きにつきましては、実質賃金の反転上昇期待を含め雇用・所得環境が改善する下で緩やかな回復が続くことが期待されますが、他方で、日米の選挙結果を受けての為替を含めた金融市場の動向、中東・ウクライナ情勢の緊迫化、中国経済及び欧州経済の下振れリスクなどに注意する必要があります。

警備分野においては、サイバー空間の脅威、高齢者、女

性、子ども等の社会的弱者の安全・安心への懸念のほか、街中での犯罪や事故の増加、今年1月に発生した令和6年能登半島地震等の自然災害に伴う治安情勢の変化、インフラ老朽化などを背景に、警備業界に対する社会の期待は高まっており、当社グループに対しては、警備を含むトータルでの安全・安心に関するサービス提供が求められています。加えて、2022年の刑法犯認知件数が2002年以来初めて対前年比増加に転じて以降増加傾向が強まっているほか、首都圏を中心に相次ぐ強盗事件や一部外国人による犯罪の発生等を受けて国内の体感治安が悪化しており、安全・安心を提供する当社グループの役割は増大していると言えます。

決算概要について

このような情勢の中、当社グループは、持続可能な社会への貢献を目指し、社会の安全・安心に関するサービス

(セキュリティ事業、FM事業等、介護事業、海外事業)を行う事業者として、適切にサービス提供を継続してまいりました。中期経営計画「Grand Design 2025」に掲げておりますとおり、「社会の多様な安全・安心ニーズに対応する強靱な総合安全安心サービス業」を目指して、リスクが多様化する中で拡大するお客様と社会の安全・安心ニーズに応えるべく、警備・設備・介護等の多様なサービス機能を組み合わせた新たなサービス提供に取り組んでおります。

以上のような取り組みを続ける中、当中間連結会計期間における当社グループの連結業績は、売上高は263,280百万円(前年同期比6.9%増)となりましたが、ベースアップの実施や3G停波対応による費用増、貸倒引当金の増加等により、営業利益は15,603百万円(前年同期比12.5%減)、経常利益は16,994百万円(前年同期比12.4%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は10,091百万円(前年

同期比14.9%減)となりました。

今後の見通し

当社グループの第60期の連結業績予想は、売上高5,500億円(前年同期比5.5%増)、営業利益403億円(前年同期比3.1%増)、経常利益431億円(前年同期比2.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益276億円(前年同期比1.0%増)を見込んでおります。

当社グループは、社会の安全・安心に関するサービスを行う事業者としての責務を果たしつつ、新技術の活用や生産性の向上等に引き続き取り組み、今後も拡大する社会の安全・安心ニーズに的確に応えてまいります。

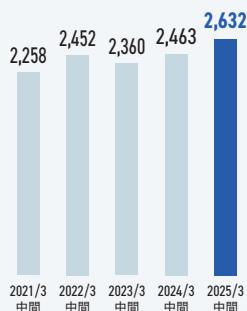
株主の皆様におかれましては、何卒今後とも変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

財務ハイライト

売上高

2,632億円

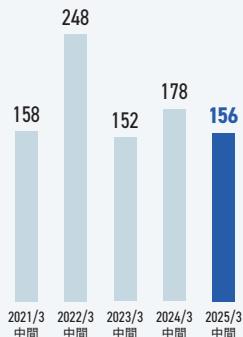
(億円)



営業利益

156億円

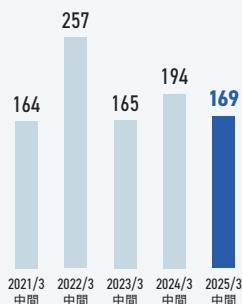
(億円)



経常利益

169億円

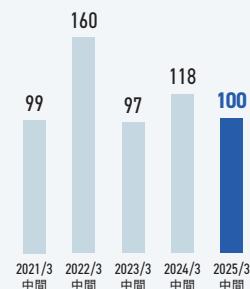
(億円)



親会社株主に帰属する 中間純利益

100億円

(億円)



5カ年決算サマリー

詳細な財務情報のご案内
<https://www.alsok.co.jp/ir/finance/>

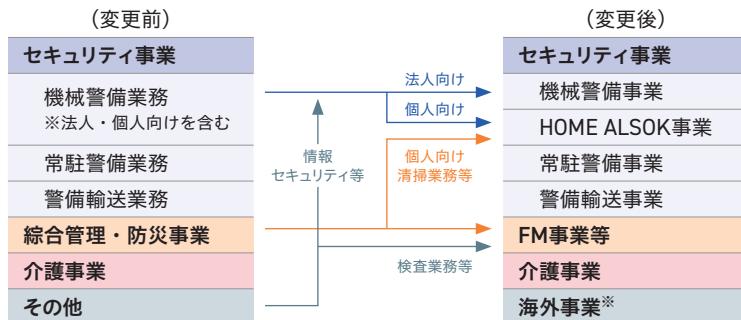


	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期 (中間)	2025年3月期 (予想)
連結財務ハイライト (百万円)						
売上高	469,920	489,092	492,226	521,400	263,280	550,000
売上原価	352,811	363,511	370,998	395,686	202,334	—
売上総利益	117,108	125,581	121,228	125,713	60,946	—
販売費及び一般管理費	79,926	82,715	84,234	86,630	45,342	—
営業利益	37,182	42,865	36,993	39,082	15,603	40,300
経常利益	39,212	44,796	39,230	42,173	16,994	43,100
親会社株主に帰属する当期純利益	25,014	28,964	23,950	27,327	10,091	27,600
総資産	481,465	488,278	516,647	567,561	565,605	—
純資産	304,427	327,509	343,893	386,581	375,647	—
設備投資	13,641	16,280	16,448	15,898	8,700	—
減価償却費	15,828	16,861	17,992	18,727	9,936	—
研究開発費	575	565	603	538	242	—
収益性						
売上高総利益率 (%)	24.9	25.7	24.6	24.1	23.1	—
売上高営業利益率 (%)	7.9	8.8	7.5	7.5	5.9	—
売上高経常利益率 (%)	8.3	9.2	8.0	8.1	6.5	—

2025年3月期より報告セグメントを変更

2024年3月期より開始した「7事業部制」と整合させるため、また、海外事業の規模拡大に伴い、2025年3月期より報告セグメントを変更いたしました。

※各セグメント(機械警備、常駐警備、総合管理・防災、その他)のうち海外分を計上



セグメント別状況

セキュリティ事業

機械警備事業



- 法人向けサービス「ALSOK-G7」を拡充し、販売を推進
- IT機器やビル設備の応急措置等を行う「ALSOK ITレスキュー」「ALSOK設備レスキュー」の提供を全国に拡大

HOME ALSOK事業



- 異常時に駆けつける「HOME ALSOK Connect」が好評
- ご依頼に応じてALSOKが現場確認するプランも用意
- その他、高齢者向け見守りサービスなどの販売も推進

常駐警備事業



- インバウンド回復による空港施設の警備、生産拠点の国内回帰、コロナ禍後のイベント再開に伴う警備に対応
- 大阪・関西万博の会場やパビリオン等の警備を複数受注

警備輸送事業



- 現金管理業務の効率化ニーズに対応。ATM総合管理サービスや入(出)金機オンラインシステム等の販売を拡大
- 自治体窓口業務を自動化する税公金受付システムを提供

FM事業等



- ファシリティマネジメント業務等の拡大
- サステナビリティへの取り組み強化の一環として、EV充電設備の販売、設置工事や保守メンテナンス等も提供

介護事業



- 施設等の入居率上昇が業績向上に寄与
- 共同出資した「科学的看護・介護研究機構」が事業開始
- 介護ロボットの活用等による介護業務の高度化・効率化を進め、『ALSOKの介護』のサービスを拡充

海外事業



- 東南アジアを中心とする7か国の現地法人が、日本で培ったノウハウをもとに、それぞれの国ごとに最適な商品・サービスを提供し、お客様の海外事業をサポート
- 犯罪や火災発生時の対応インフラが未整備な国における、代替となる一次対応サービスの提供

売上
構成比

機械警備
事業
31.5%

HOME
ALSOK
事業
4.5%

常駐警備
事業
22.8%

警備輸送
事業
13.5%

12.6%

10.0%

5.0%

※当中間連結会計期間より報告セグメント並びに一部の収益及び費用の配分方法を変更しております。前期比較にあたっては、前年同期の実績を変更後の区分及び配分方法に組み替えて行っております。

ALSOK TOPICS



「ALSOK ITレスキュー、ALSOK設備レスキュー」新テレビCM放映

IT機器と建物設備それぞれの異常や障害にガードマンが現地で原因究明と応急処置を行う「ALSOK ITレスキュー」および「ALSOK設備レスキュー」のサービス提供エリアが、7月1日より全国に拡大しました。これに伴い2つの「レスキューサービス」を訴求した新テレビCM「レスキューHOT LIMIT」篇を、8月23日から9月8日まで放映しました。

「パソコンがネットに繋がらない!」「ビルの設備にトラブルが起きた!」などのITや設備のトラブルに24時間365日駆けつけるALSOKのガードマン。ITや設備の専門家と、DXで連携して応急処置でトラブルを解決。その対応に経営者やビルオーナーからは笑みがこぼれ、オフィスはいつも通り快適な環境に。軽快な音楽と歌詞に載せてお届けしました。



■ CMサイト

<https://www.alsok.co.jp/cm/>



■ 「ALSOK ITレスキュー」Webサイト

<https://www.digitalsales.alsok.co.jp/it-rescue>



■ 「ALSOK設備レスキュー」Webサイト

<https://www.alsok.co.jp/corporate/facility-rescue/>



株式会社カンソーの株式を取得（子会社化）

当社は9月4日、ビルメンテナンス事業を営む株式会社カンソーの全株式を取得する契約を締結しました。当社は警備事業を起点に、リスクの多様化に応じて拡大していくお客様と社会の安全安心ニーズに応えるべく、建物の維持管理などに対応するファシリティマネジメント事業（FM事業）の領域拡大に取り組んでおります。

M&Aなどにより、建物設備の点検、修繕や防火防災、設備管理、清掃衛生管理などの業務をトータルでお客様に提案できる体制を構築しております。今年7月には「ALSOK設備レスキュー」を全国展開する等、サービスの品質向上に努めてまいりました。

カンソー社の参画は、人材の確保、生産性の向上といった課題に取り組みつつ、主に関西圏における当社グループFM事業の更なる拡大・強化に資するものと考えております。



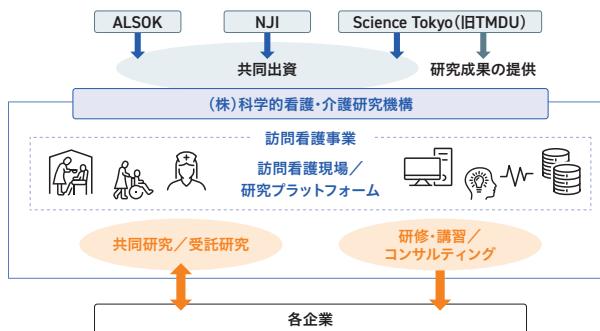
介護事業

看護・介護分野の研究開発・人材育成を行う新会社を設立

国立大学法人東京科学大学（Science Tokyo）（旧国立大学法人東京医科歯科大学（TMDU））と当社および株式会社エヌジェイアイ（NJI）は、三者による包括連携協定を2022年10月に締結し、看取り支援システムの開発等の共同研究と成果の社会実装に取り組んでおります。これらの取り組みの深化を図るべく、このたび三者共同出資により株式会社科学的看護・介護研究機構（新会社）を東京都品川区に設立いたしました。

新会社は、まず、在宅・緩和ケア看護領域をはじめとするScience Tokyoの研究成果の社会実装からスタートしながら、自らが在宅や介護施設内における訪問看護事業を行うことにより科学的なアプローチによる看護・介護サービスを提供するとともに、ヘルスケア全般に関わる研究開発、人材育成を担います。研究開発で得た知見や、専門的な知識をもったアカデミアのノウハウを広く各企業にも展開していきます。

株式会社科学的看護・介護研究機構のイメージ



左から ALSOK 代表取締役グループ CEO 兼 CTO 村井豪、株式会社科学的看護・介護研究機構代表取締役社長熊谷敬、東京科学大学学長田中雄二郎、株式会社エヌジェイアイ代表取締役 橋本弘幸



介護事業

「ALSOK介護ケアステーションおおた」がリニューアルオープン

2024年5月1日に「ALSOK介護ケアステーションおおた」がリニューアルオープンしました。居宅介護支援事業所、訪問介護のサービスを一元的に提供できる事業所としてケアステーションと名付けました。地域の居宅介護支援事業所、訪問介護事業所を統合し大規模事業所として安定的にサービスを提供することが可能となりました。このほか、2024年4月以降に下記の有料老人ホームが新規オープンとなりました。

- アミカの郷草加谷塚(2024年4月)
- アミカの郷船橋塚田(2024年5月)
- アミカの郷戸田(2024年9月)
- アミカの郷一橋学園(2024年11月)



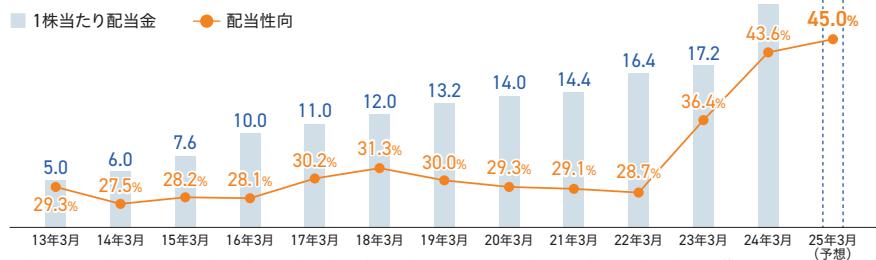
株主還元方針

当社グループでは、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要政策として位置付け、内部留保の充実を図りながら、業績に裏付けられた成果の配分を行うことを基本方針としております。配当性向は株主の皆様への利益還元の更なる充実のため、40～50%を目安に安定配当を目指してまいります。

配当金を連続増配予定

2025年3月期の中間配当は「1株当たり12.4円」とさせていただきます。期末配当予想は12.4円としており、年間配当金は「1株当たり24.8円」、配当性向は45%を見込んでおります。

1株当たり配当金・配当性向の推移 (単位:円)



※ 当社は、2023年7月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行いました。2023年3月期は株式分割後基準での換算となります。
※ 2025年3月期の配当性向の算定に際しては、下記の自己株式取得の影響を加味しておりません。

自己株式取得

2024年5月15日から9月17日までの間に、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行及び株主還元策の一環のため、15,741,100株、総額14,999,944,150円で自己株式を取得いたしました。

海外子会社訪問

インドネシア

PT. ALSOK BASS Indonesia Security Services/PT. Shield-On Service Tbk

当社は、ジャカルタを中心に警備サービスや警備・防災機器販売等を提供するPT. ALSOK BASS Indonesia Security Services (ALSOK BASS) を通じて、2023年8月にインドネシア証券取引所に上場しているPT. Shield-On Service Tbk (SOS) の株式を取得しました。これにより、警備のみならず、人材派遣、清掃、駐車場管理等のサービスがインドネシア全土において提供可能となりました。

ここが自慢です!

SOSがALSOK BASSに参画したことで、ALSOK BASSの駆け付けサービスが無い機械警備契約先にSOSの常駐警備業務が契約開始となったことから、機械警備のアラーム発生時にSOS常駐警備員に通報し対処するという連携したサービス提供が実現しました。また、有名観光地における施設の美観・環境維持のための清掃業務の提供と活動の幅を広げています。



ALSOKのサステナビリティ

ESG TOPICS

「FTSE4Good Index Series」ほか 複数のESG投資指数に連続選定

社会的責任投資の代表的な指数「FTSE4Good Index Series」の構成銘柄に17年連続で選定されました。同指数は、FTSE Russell社による社会的責任投資インデックスで、ESG（環境、社会、ガバナンス）の観点から社会的責任を果たしていると認められた企業を選定した代表的な指標です。このほか「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に8年連続で、「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」に3年連続で選定されました。今後も社会的課題の解決に努め、持続的な企業価値の向上を目指してまいります。

「健康経営優良法人」に認定。 警備業界で唯一の8年連続

経済産業省と日本健康会議が共同で主催する「健康経営優良法人」に警備業界で唯一、8年連続で認定されました。本制度は、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度です。今後も、社員の健康管理を経営的な視点で考え、健康維持・推進に向けて積極的に取り組んでまいります。

「奨学金代理返還制度」を導入。 未来を担う人財を支援

働きやすい職場づくりに向けた制度の充実や処遇改善の一環として、2024年10月より、入社5年目までの若手社員を対象とした「奨学金代理返還制度」を導入しました。日本学生支援機構等の貸与奨学金を返還する社員を対象に最長5年間、月額最大1.8万円（5年間で最大108万円）を代理返還します。新卒採用社員に限らず、通年採用社員、一定の条件を満たす既存の社員も対象です。本制度をはじめとする制度の充実により、人財の確保と定着を推進しつつ、働きがいのある会社の実現を目指してまいります。

第7回エコプロアワード「優秀賞」を受賞。 ALSOK千葉と共同で

有害鳥獣捕獲等事業と捕獲害獣のジビエ活用を行う「ジビエ工房茂原」での活動が評価され、第7回エコプロアワードで「優秀賞」を受賞しました。エコプロアワードは、事業者や消費者、投資家、市場関係者に評価が高く、優れた環境配慮が組み込まれた製品やサービス、技術、ソリューション、ビジネスモデルを表彰することで、これらのさらなる開発・普及を目的としています。

ESG・SRIインデックスへの組み入れ状況

各種取り組みにより、当社はESG、SRIインデックスで下記銘柄に選出されております。



FTSE4Good

社会的責任投資指標
「FTSE4Good Index
Series」
の構成銘柄

17年連続



FTSE Blossom
Japan Index

ESG投資指数
「FTSE Blossom Japan
Index」
の構成銘柄

8年連続



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

ESG投資指数
「FTSE Blossom Japan
Sector Relative Index」
の構成銘柄

3年連続

ESG投資指数
「Morningstar Japan ex-REIT
Gender Diversity Tilt Index」
の構成銘柄

2年連続



Sompo Sustainability Index

「SOMPOサステナビリティ
インデックス」
の構成銘柄

10年連続

ALSOK SPORTS & SHOGI NEWS

ALSOKが支援するスポーツと将棋のニュースをお届けします。

柔道

瀬川麻優選手が初の日本一に輝く

4月21日に神奈川で行われた柔道の全日本女子選手権で、瀬川麻優選手が初優勝を果たしました。体重無差別で日本一を争う大会で、積極的な攻めの姿勢が光り、念願の日本一をつかみ取りました。2028年ロサンゼルス五輪代表を目指す瀬川選手。今後も活躍が楽しみです。



陸上

堤雄司選手が円盤投で日本選手権11回目の優勝

6月27～30日に新潟で行われた陸上の日本選手権・男子円盤投で、ALSOK群馬の堤雄司選手が60m12を投げ、同大会最多タイの11回目の優勝を果たしました。

2024年パリ五輪 結果報告

2024年パリ五輪へ、当社から3名の代表選手が出場し、下記の結果となりました。応援ありがとうございました。

- ▶ 8位入賞 鈴木梨羅選手（ウエイトリフティング）
- ▶ 出場 曾我部京太郎選手（レスリング）
- ▶ 予選33位 岡田直也選手（ライフル射撃）

将棋

ALSOK杯 第74期 王将戦 藤井聡太王将への挑戦者を決めるリーグ戦が開幕

2024年9月24日より、ALSOKが特別協賛している『ALSOK杯 第74期 王将戦』の挑戦者決定リーグが行われています。

リーグ戦の出場者7名は、前回挑戦者の菅井竜也八段をはじめ、実力者ぞろいの顔ぶれで、誰が藤井王将への挑戦者となるかが注目されています。（2024年10月26日時点）



挑戦者決定リーグでは菅井竜也八段(右)が羽生善治九段(左)に勝利



大切な家族を守るために

ALSOKは、スマホ防犯をよりシームレスに、ホームセキュリティをもっと快適にするサービスをご提供しています。

ホームセキュリティの
様々なお悩み

外出時・帰宅時に
毎回操作するのは大変そう…

警備機器の操作が難しそう…

うっかりスマホを家に忘れちゃう…



解決!



「HOME ALSOK Connect」用の
新コントローラー

スマホゲートが 解決します

Point
01

スマホに反応して 自動で警備を解除



登録されたスマホを所持しているだけで、帰宅時は自動で警備を解除。警備操作の手間がなくなります。

Point
02

ワンタッチで 警備を開始



外出時もスマホを所持し、警備モードボタンを選択するだけで簡単に警備が開始されるため、お出かけがスムーズに。

Point
03

スマホの持ち忘れ をお知らせ



お出かけする際にスマホの有無をお知らせしてくれるので、スマホの持ち忘れ防止に繋がります。

スマホで簡単操作が人気の「HOME ALSOK Connect」。長時間の外出からちょっとしたお出かけ、そして在宅中まで、最新のセキュリティシステムでお客様のお住まいを24時間365日体制で見守ります。

HOME ALSOK Connect

家を守ろう。スマホで守ろう。

<https://www.alsok.co.jp/person/connect/>



シンプルでコンパクトな警備ユニット
本体。お家によくなじみます。

会社概要

(2024年9月30日現在)

社名 総合警備保障株式会社
(SOHGO SECURITY SERVICES CO.,LTD.)
本社 〒107-8511 東京都港区元赤坂1-6-6
設立 1965年7月16日
資本金 18,675百万円
事業所 本社・64支社・37支店・257営業所
従業員数 11,985名 (65,365名 [連結])

発行可能株式総数

1,500,000,000株

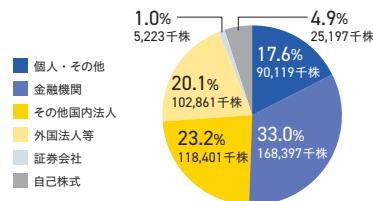
発行済株式総数

510,200,210株

(自己株式 25,197,290株を含む。)

株主総数

14,016名



取締役及び監査役

役職	氏名	役職	氏名
代表取締役 グループCEO	村井 豪	取締役 (社外)	池永 肇恵
代表取締役 グループCOO	栢木 伊久二	取締役 (社外)	三島 正彦
取締役	鈴木 基久	取締役 (社外)	岩崎 賢二
取締役	熊谷 敬	取締役 (社外)	森田 宏之
取締役	重見 一秀	取締役 (社外)	田中 里沙
取締役	百武 尚樹	常勤監査役	望月 壽一郎
取締役	小松 裕	常勤監査役 (社外)	中野 慎一郎
		監査役 (社外)	中川 能亨
		監査役 (社外)	大塚 祥史

大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行 (株) (信託口)	57,043	11.76
総合商事 (株)	36,943	7.61
(株)日本カストディ銀行 (信託口)	34,092	7.02
埼玉機器 (株)	26,419	5.44
きずな商事 (株)	26,150	5.39
総合警備保障従業員持株会	16,751	3.45
みずほ信託銀行 (株) 退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者 (株) 日本カストディ銀行	14,807	3.05
村井 温	14,804	3.05
(株)SMBC信託銀行 (株) 三井住友銀行退職給付信託口	13,678	2.82
全国共済農業協同組合連合会	12,660	2.61

※持株比率は自己株式 (25,197,290株) を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月下旬
基準日 定時株主総会・期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
受付時間 9:00~17:00 (土日休日を除く)

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

お問い合わせ先

株式事務に関するお問い合わせ
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
TEL:0120-782-031 (フリーダイヤル)
総合警備保障株式会社 総務部総務課
TEL:03-5410-4428
E-mail:soumu@alsok.co.jp

事業内容に関するお問い合わせ
総合警備保障株式会社 IR室
TEL:03-3423-2331
FAX:03-3470-1565
E-mail:alsok-ir@alsok.co.jp



ALSOKホームページ <https://www.alsok.co.jp/>



環境に優しい植物性大豆
インキを使用しております。



P-A10007